

## 平常時に確認・準備すること

・平常時に、自宅の状況をハザードマップで確認し、緊急時に避難が必要か事前に知っておくことが大切です。

### ●ハザードマップの確認

・あなたの住んでいる地域は？

- 浸水想定区域
- 土砂災害警戒区域

・自宅が早期に避難が必要な区域内にある。

- はい  いいえ

### ●避難する場所

・実際に避難する場合、どのような場所なら避難生活ができるかを考えましょう。

- 避難所  親戚・知人の自宅
- 近くの頑丈な建物  自宅の2階
- その他 ( \_\_\_\_\_ )

・避難する場所： \_\_\_\_\_

・避難する場所までの交通手段： \_\_\_\_\_

### ●非常持出品の準備

＼持出品は、事前に準備しましょう／

- 飲料水・食料  保険証（身分証明書）
- 着替え  携帯電話
- 携帯ラジオ  雨具
- 常備薬  懐中電灯

※ 普段から準備をしておいて下さい。

## マイ・タイムライン

警戒レベルと行政からの情報など、警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2
市からの情報等		自主避難など 注意の呼びかけ
警戒レベル相当情報等 <small>(気象庁や国土交通省河川国道事務所等の情報)</small>	早期注意情報	大雨注意報、洪水注意報、 氾濫注意情報 等
行動の目安	<b>基本的事項</b> 全ての避難行動に共通する事項 <input type="checkbox"/> 天気予報を確認 <input type="checkbox"/> 家の点検・補強 <input type="checkbox"/> 非常持出品や備蓄品の確認	<input type="checkbox"/> 備蓄品等が浸水しないように安全な場所に置く
	浸水想定区域外の家族、親族、知人宅等への避難 <input type="checkbox"/> 避難をする相手先と連絡をとる <input type="checkbox"/> 避難の方法を確認	自分や家族がどのように行動するか考えましょう！
	避難に支援を必要とする人 高齢者や身体障がい者等 <input type="checkbox"/> 家族やケアマネジャー等支援者を交えて避難手段やタイミング等の確認	

### 私と家族の計画

自分や家族のマイ・タイムラインを話し合い、実際に行える行動を記載しましょう

例) テレビ・ラジオなどによる気象情報の確認。ハザードマップの確認。非常持出袋の確認。家の周囲の安全確認。

危険な場所から 高齢者等は避難	危険な場所から 全員避難	災害発生
警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
大雨警報、洪水警報、 氾濫警戒情報 等	土砂災害警戒情報、 氾濫危険情報 等	大雨特別警報、 氾濫発生情報
<input type="checkbox"/> 避難場所・開設状況の確認 山梨市役所ホームページ 山梨市防災防犯メール	<input type="checkbox"/> 避難開始 避難指示時には危険な場所から全員避難  <b>【避難方法】</b> ・避難の方法や経路についても平常時から考えておきましょう。	警戒レベル5が出てもまだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動したりするなど、命を守るための最善の行動をとってください。

例) 気象情報の確認。親戚や知人に避難先を連絡する。近所の人へ声をかける。

例) すぐに避難！

外に出るのがかえって危険な時には、家の中で安全な場所（崖から離れた2階部屋）に移動する。